

2024 年5月 27 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者 ・氏名： 磯野 敏和  
・年齢：  
・コールサイン：JR1DPH  
・連絡先 住 所：  
メール：

2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）

A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア

B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア

3. アイディア名：アマチュア無線奨学金支給プログラム（仮称）

— 高校生、大学生等のアマチュア無線家への奨学金の設立構想 —

4. アイディアの概要（200 字以内）：

- (1) 高校生、高等専門学校生、大学生のアマチュア無線家に対する奨学金の支給は、若い世代の関心を高め、彼らがアマチュア無線活動を続けるための大きな動機づけとなります。
- (2) また、このような奨学金を設けることにより、まだアマチュア無線資格を有していない者の資格取得が期待されます。

5. 詳細説明（図表を含めて4 頁以内）：

高校生、高等専門学校生、大学生のアマチュア無線家に対する奨学金支給プログラムは、若い世代の技術的興味を育み、アマチュア無線の普及と発展に大いに貢献が期待でき、しっかりとした計画と支援体制を整えることで、持続可能なプログラムを実現できると考えます。

アマチュア無線奨学金支給プログラム（仮称）

(1) 奨学金の種類

- ① コミュニティ貢献奨学金：アマチュア無線を通じて地域社会に貢献する活動を行う学生に対する奨学金
- ② プロジェクト支援奨学金：アマチュア無線に関連するプロジェクトや研究を行う学生に対する奨学金
- ③ 学業支援奨学金：無線技術や電気工学など、関連分野を専攻する学生に対する奨学金

## (2) 奨学金の金額

奨学金の金額は学生の負担軽減とモチベーションを考慮して設定します。

例えば、年間6万円から60万円程度の範囲で設定し、プロジェクトの規模や学業成績に応じて調整します。

## (3) 応募条件

- ① 日本アマチュア無線連盟（JARL）に所属していること。
- ② アマチュア無線技士の資格を有していること。
- ③ 学業成績が一定以上であること。
- ④ 奨学金の受給期間中、無線関連の活動やプロジェクトを定期的に報告すること。

## (4) 実施方法

### ① 奨学金の設立と資金調達

- ・ 基金の設立：アマチュア無線愛好者や各種団体からの寄付を募り、奨学金基金を設立します。
- ・ スポンサーの獲得：無線機器メーカー、通信企業、電気工学関連企業などからのスポンサーシップを募集します。

### ② 応募プロセス

- ・ 申請書類の準備：応募者は申請書、推薦状、過去の無線活動の記録、プロジェクト計画書などを提出します。
- ・ 審査委員会の設立：アマチュア無線家や学識経験者で構成された審査委員会を設立し、応募書類を審査します。
- ・ 面接：必要に応じて面接を行い、応募者の意欲や計画の具体性を確認します。

### ③ 受給者の支援とフォローアップ

- ・ メンタリングプログラム：受給者に対して、経験豊富なアマチュア無線家や技術者からのメンタリングを提供します。
- ・ 活動報告：受給者は定期的に活動報告を行い、奨学金の使用状況やプロジェクトの進捗を共有します。
- ・ 成果発表会：奨学金を受給した学生が成果を発表する場を設け、他の学生や無線愛好者との交流を促進します。

## (5) 奨学金プログラムの効果

### ① 若者の関心と参加の促進

奨学金の受給により、学生の学費や教材費、生活費などの経済的負担が軽減するため、学業に集中しやすくなります。特にアマチュア無線に関連する機器や材料費が高額になりつつあることから、奨学金が大きな助けとなり、アマチュア無線への参加ハードルを下げ、若者の興味を引かせます。

また、奨学金を受け取ることで、学生は自分の努力が認められたと感じ、学業やアマチュア無線活動に対するモチベーションが高まり、達成感や自信を育む重

要な要因となります

② 技術の発展とイノベーション

奨学金を受けた学生は、新しいアイデアや技術を試す機会を増やし、これにより、技術的スキルが向上し、将来的なキャリアにも有益となり、アマチュア無線の分野に新たな風を吹き込みと考えられます。

③ コミュニティの活性化

奨学金を通じて若者と無線愛好者のコミュニティが強化され、全体の活力が向上します。

④ 将来のリーダーの育成

奨学金を受けた学生は、学んだ技術や経験を活かして、将来的にアマチュア無線コミュニティのリーダーとして活躍が期待されます。

⑤ 社会貢献活動の推進

奨学金を受けた学生を、災害時の緊急通信支援や地域イベントでのコミュニケーション支援など、アマチュア無線を通じた社会貢献活動に積極的に参加するように促し、これにより、地域社会への貢献が強化されます。

これらの効果は、学生の個々の成長やキャリアにとどまらず、アマチュア無線コミュニティ全体の活性化と発展にも寄与します。奨学金プログラムは、学生の可能性を広げるとともに、アマチュア無線の未来を支える重要な役割を果たすと考えます。

(6) アマチュア無線奨学金支給プログラム（仮称）の将来

奨学金を受けた学生は、将来的にアマチュア無線コミュニティのリーダーやイノベーターとして活躍する可能性が高まり、彼らが学んだ技術や経験を活かして、他のメンバーに影響を与えることが期待されます。

そのためには、日本においても ARRL（全米アマチュア無線協会）財団奨学金プログラム（高等教育を受ける資格のあるアマチュア無線家のための ARRL 財団奨学金プログラムに関心をお寄せいただきありがとうございます。ARRL 財団は、500 ドルから 25,000 ドルまでの寛大な寄付者によって設立された 100 以上の奨学金を管理しています。）のような、システム構築を進めるべきと考えます。

6. 参考情報（任意）

・ Web 情報 : ARRL Foundation website :

<http://www.arrl.org/scholarship-program>

Foundation for Amateur Radio :

<https://www.farweb.org/far-overview/scholarship-information>